

JLEM News Letter Vol.40



第45回日本語教育方法研究会開催

発表 40 件 参加者 95 名

第46回は国際交流基金日本語国際センターにて

2015年9月19日(土)、第45回日本語教育方法研究会が立命館大学(京都府)で開催されました。平田裕先生、そして立命館大の先生方や学生の皆さま、大変お世話になりました。

前日9月18日に運営委員会が開かれました。議事については、このレターの記事をご覧ください。

次回の第46回研究会は2016年3月19日に国際交流基金日本語国際センター(さいたま市)において開かれます。みなさまふるってご参加ください。

開催を終えて

平田 裕
(立命館大学)

第45回日本語教育方法研究会は、2015年9月19日(土)に立命館大学衣笠キャンパスで開催されました。6年ぶりの大型連休となるシルバーウィークの初日に設定してしまったにもかかわらず、お天気にも恵まれ、全国から多くの方々のご参加下さいました。当日は40件の発表があり、教育現場での様々な活きた課題をテーマに活気のある議論が交わされました。昼に行われた交流会も盛況で、

全体としての統一感につながったのではないかと思います。本学からも多数の参加者・発表者があり、本学の日本語教育にとっても非常に意義のある研究会でした。衣川先生、小河原先生をはじめ、開催にあたっては運営委員の先生方に本当にお世話になりました。このような貴重な機会を頂戴したことに心より御礼申し上げます。

次回開催にあたって

久保田 美子

(国際交流基金日本語国際センター)

第46回JLEMは、3月19日(土)に国際交流基金日本語国際センターで開催されることになりました。日本語教育の実践者である先生方が全国各地からお集まりくださり、さまざまな実践研究を御紹介くださることを心から歓迎いたします。

国際交流基金は、1972年に設立され、文化芸術交流、海外における日本語教育、および日本研究・知的交流の3つを主要分野として活動してまいりました。日本語国際センターは、1989年、特にこの海外における日本語教育のために、浦和市(現さいたま市)に設立され、現在、海外の日

本語教師の養成・研修を行う研修事業、日本語教材・教授法の開発・普及を行う教材制作事業の2つの部門を中心にさまざまな活動を行っています。どちらの部門も、それぞれの活動がより良い実践に結び付くことを目指していることは言うまでもありません。研究会のご成功をお祈りするとともに、この機会が皆様にとって実りある交流の場となることを願っております。

第6回JLEM優秀賞

第45回研究会における「優秀賞」及び「奨励賞」は、以下の研究に授与されました。

「優秀賞」 畠山理恵(立命館大学)
「地域社会を対象とするプロジェクトワークの試み—留学生は地域の課題をどう解釈し解決策の提案を行ったか—」

「奨励賞」 河住有希子(日本工業大学)・秋元美晴(恵泉女学園大学)・藤田恵(立教大学)・北川幸子(京都外国語大学)・浅野有里(日本国際教育支援協会)
「視覚に障害をもつ日本語学習者の学びを支援するネットワークの構築にむけた基礎調査」

審査はこれまで同様、運営委員から選出された審査員、及び、会長・事務局長・編集委員の6名からなる優

秀賞選考委員会の討議によって行われました。

「優秀賞」の畠山氏は、地域社会を対象とする課題発見・解決型のプロジェクトワークの実践報告であり、教室内の授業活動に留まらず、実際に学生が地域団体に対し提案パンフレットを作成するという発信を行うものでした。ポスターもわかりやすく高い評価を得ました。

「奨励賞」の河住氏らの研究は、多様な学習者（本研究では視覚に障害をもつ学習者）に対する学習アクセシビリティ向上への取り組みとして行われた教育現場の調査報告でした。課題の設定の独自性という点で高く評価されました。今後、本研究の調査結果を基にさらなる発展を期待する意味をこめて、「奨励賞」を授与することになりました。受賞者のポスターは本会のHPでご覧いただけます。この賞が、会員の皆様が研究を行う上での良い刺激になることを期待しています。

(本郷智子)

臨時総会報告

2015年度臨時総会が9月19日(土)に、研究会開催校である立命館大学にて行われました。定足数(9月18日時点での会員総数608名の10分の1以上)を満たしていたため、総会として成立しました。すべての議案に関して、承認されましたので、ここにご報告いたします。

[報告事項]1. 会員管理システムへの移行について

※臨時総会時点では運用を延期しておりましたが、10月15日に運用を

開始しました。

※運用開始に伴い、ホームページ、問い合わせ先のアドレスが変更となります。詳細に関しましては事務局からの「会員管理システム導入に伴う登録情報の確認」をご覧ください。

[報告事項]2. 会誌公開方法(CiNiiからJ-Stageへの移行)について

現在CiNiiにて公開している会誌につきましては、2016年4月以降新規登録ができなくなります。これに伴い、会誌公開方法をCiNiiから科学技術振興機構(JST)が運営するJ-Stageへ移行することを運営委員会にて決定しました。

[審議事項]1. 日本語教育方法研究会会則の改訂

事前に会員の皆様に送付した会則の改定案に加え、9月18日の運営委員会にて提案された修正案が審議され、修正案が承認されました。

修正の大きな点としては、新たに「JLEM賞選考委員会」が付け加えられたことです。

第4章 役員・組織 第13条

(4) JLEM賞選考委員会

JLEM賞選考委員会は、事務局、運営委員、会長が委嘱する会員で構成し、JLEM優秀賞・奨励賞・ポスター賞の審査を行う。

研究会の終了とともに解散する。

第5章 会議 第16条

1. 運営委員会、総会、JLEM賞選考委員会の議長は会長とする。

8. JLEM賞選考委員会は、研究会当日に設置する。議決は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決する。

これまでは、JLEM賞選考は運営委員で行ってきましたが、発表する運営委員も多く、選考委員の設置に問題が生じていました。そこで会長が運営委員以外にJLEM賞選考委員に委嘱できる体制を整えることが修正の目的です。

それ以外には、運営委員の人数に修正が加えられました。

会計担当委員 2名程度
編集担当委員 10名程度
情報管理委員 5名程度
企画・広報委員 12名程度

また、会則の改定に伴い、以下の申し合わせが確認されました。

※今後の研究会開催について
毎年秋の研究会を各年度の第1回とし、開催地を関東地区とする。
春の研究会を各年度の第2回とし、開催地を関東地区以外とする。

※今後の研究会誌について
秋に発行される会誌を各VolのNo.1とする。春に発行される会誌を各VolのNo.2とする。なお、移行に伴う措置として、2016年3月の研究会を2015年度第3回研究会として開催する。

[審議事項]2. 2015年度の追加予算案について

会則の変更と会計年度の移行に伴う措置として、2015年度の会計年度が2015年1月1日から2016年3月31日までの15ヶ月となります。これに伴う特別予算の審議が行われ、原案通り承認されました。

[審議事項]3. 運営委員の交代について

会則の変更に伴い、運営委員の退任、移動、増員が提案され、承認されま

した。編集（会誌担当）の新運営委員として、大津友美氏（東京外国語大学）、小森万里氏（大阪大学）、佐々木良造氏（秋田大学）、中川健司氏（横浜国立大学）の4名が、編集（J-Stage 担当）の新運営委員として寺嶋弘道氏（立命館アジア太平洋大学）が選出され、総会で承認されました。また、Web 担当であった松崎寛氏は編集（Web 担当）への異動が承認されました。

長年会計を担当していただいた馬場眞知子氏は、退任が承認されました。馬場さん、長い間ありがとうございました。

（衣川隆生）

運営委員会報告

運営委員会は、研究会の前日の9月18日（金）に立命館大学において開かれました。19名の運営委員のうち、12名の運営委員が参加し、参加できなかった委員からは委任状が提出されました。

今回の運営委員会で報告、審議されたことのうち、臨時総会報告と重複しないことのみ、以下にご報告いたします。

①会員数

2015年9月18日現在の会員数は608人（国外20人）になりました。

②運営委員の任期について

会則変更、会計年度の変更に関わらず、運営委員の任期は4月1日に始まり、3月31日までとします。また、9月19日の総会で会則変更、運営委員の新退任が承認された場合、

新任の任期は、2015年9月19日から2017年3月31日までとします。

（衣川隆生）

事務局よりご連絡

●会員管理システム導入に伴う登録情報の確認

本年度2015年10月にweb上での会員管理システム

<<https://secure.jlem-sg.org/>>が導入されました。10月15日付けで、皆様には個別にIDとパスワードを現在会員管理に登録されている住所に郵送にてお送りしました。お手元に届きましたら、同封の手順に沿って登録作業を行ってください。まだIDとパスワードが届かない場合は、至急事務局まで御連絡ください。

会員管理システム公開に伴い、今まで郵送しておりましたニューズレター、発表申込案内、研究会プログラムなどの印刷物の発送は停止いたします。皆様のお手元に届くのは会誌のみとなります。今後は、登録e-mail アドレスへ、

<jlem-ml@jlem-sg.org>からお知らせを届けます。

<jlem-ml@jlem-sg.org>が迷惑メールにならないよう、ご指定をお願いします。

ご不明な点などありましたら、<jlem-ml@jlem-sg.org>までお問い合わせください。

●住所変更

JLEMでは、会員管理システムに登録された会員住所に会誌を郵送します。住所変更の場合は、速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報

の変更をお願いします。

（小河原義朗）

ご連絡先をお知らせください

下記の方々の連絡先が不明となっております。ご存知の方がいらっしゃいましたら、事務局までご一報ください。よろしくお願ひいたします。

高木佳奈 Sirada Boonserm 林美延 秋口まどか 安立圭汰朗 封静宜 孝橋一希 田川恭識 廣瀬香織 上野山愛弥（敬称略、11月1日現在）

下記の方々は当日入会をされた方ですが、入会手続きが済んでいませんので、JLEM日本語教育方法研究会（<https://secure.jlem-sg.org/>）の「入会申し込み」より、申し込み手続きをして下さい。

なお、下記の方々の中に、お知り合いの方がいらっしゃる方は、恐れ入りますが、お伝えいただきますよう、よろしくお願ひします。

吉田恭子 今川和 国府田直美 米野みちよ 堀義仁 大平幸 大野裕（敬称略、11月1日現在）

（長谷川守寿）

日本語教育方法研究会

問い合わせ先: jlem-ml@jlem-sg.org

（レター編集：本郷智子）